

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成23年4月14日

【四半期会計期間】 第25期第3四半期(自平成22年12月1日至平成23年2月28日)

【会社名】 ファーマライズホールディングス株式会社

【英訳名】 Pharmarise Holdings Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大野 利美知

【本店の所在の場所】 東京都中野区中央一丁目38番1号

【電話番号】 03-3362-7130(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 小高 芳夫

【最寄りの連絡場所】 東京都中野区中央一丁目38番1号

【電話番号】 03-3362-7130(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役 小高 芳夫

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第24期 第3四半期 連結累計期間	第25期 第3四半期 連結累計期間	第24期 第3四半期 連結会計期間	第25期 第3四半期 連結会計期間	第24期
会計期間	自 平成21年6月1日 至 平成22年2月28日	自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日	自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日	自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日	自 平成21年6月1日 至 平成22年5月31日
売上高 (千円)	16,899,557	19,663,992	6,274,441	6,717,598	23,416,897
経常利益 (千円)	449,890	835,190	189,809	285,242	773,134
四半期(当期)純利益 (千円)	202,085	373,600	90,390	143,506	276,576
純資産額 (千円)	-	-	1,918,502	2,253,953	1,913,740
総資産額 (千円)	-	-	12,888,289	14,616,945	13,786,832
1株当たり純資産額 (円)	-	-	84,299.17	104,995.72	88,442.55
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	9,442.37	18,403.04	4,223.44	7,068.92	12,937.42
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-	-	-
自己資本比率 (%)	-	-	14.0	14.6	13.0
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,366,887	1,308,252	-	-	807,366
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	1,467,146	807,234	-	-	1,612,370
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	657,595	4,180	-	-	1,475,916
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	-	-	2,478,564	3,088,977	2,592,139
従業員数 (名)	-	-	654	660	648

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 従業員数は、就業人員数を表示しております。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の子会社）において営まれている事業の内容に大きな変更はありません。

3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成23年2月28日現在

従業員数(名)	660 (132)
---------	-----------

- (注) 1 従業員数は、当社グループから当社グループ外への出向者を除き、当社グループ外から当社グループへの出向者を含む就業人員であります。
- 2 従業員数欄の（外書）は、臨時従業員の当第3四半期連結会計期間の平均雇用人員（1日8時間換算）であります。

(2) 提出会社の状況

平成23年2月28日現在

従業員数(名)	40 (2)
---------	--------

- (注) 1 従業員数は、当社から他社への出向者を除き、他社から当社への出向者を含む就業人員であります。
- 2 従業員数欄の（外書）は、臨時従業員の当第3四半期会計期間の平均雇用人員（1日8時間換算）であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 仕入実績

当第3四半期連結会計期間の仕入実績をセグメントごとに記載しますと、次のとおりであります。

区 分	前第3四半期 連結会計期間 (千円)	当第3四半期 連結会計期間 (千円)	前年同期比 (%)
調剤薬局事業	-	4,532,978	
その他	-	44,273	
合 計	-	4,577,251	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績をセグメントごとに記載しますと、次のとおりであります。

区 分		前第3四半期 連結会計期間 (千円)	当第3四半期 連結会計期間 (千円)	前年同期比 (%)
調剤薬局事業	薬剤に係る収入	個々の器官系用医薬品	-	2,254,061
		神経系及び感覚器 官系用医薬品	-	864,433
		代謝性医薬品	-	968,043
		その他	-	854,650
	小計	-	4,941,189	
	調剤技術に係る 収入	調剤技術料等	-	1,435,291
	一般薬等売上	-	147,002	
	小計	-	6,523,483	
	その他	-	194,114	
	合 計	-	6,717,598	

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

当第3四半期連結会計期間の調剤薬局事業における地区別の店舗数及び販売実績は、次のとおりであります。

地区別	店舗数	前期末比 増減	前第3四半期 連結会計期間 (千円)	当第3四半期 連結会計期間 (千円)	前年同期比(%)
北海道	35	2	1,161,760	1,122,351	96.6
宮城県	1		33,503	37,399	111.6
秋田県	2			65,842	
山形県	1		19,623	20,876	106.4
福島県	11		501,606	495,731	98.8
茨城県	3		77,748	82,577	106.2
群馬県	8	4	216,493	295,684	136.6
埼玉県	4		230,040	258,742	112.5
千葉県	1		68,496	74,139	108.2
東京都	14		373,537	492,758	131.9
神奈川県	3		133,053	136,920	102.9
新潟県	12		389,837	371,045	95.2
富山県	2	1	97,570	88,975	91.2
石川県	5		272,456	280,572	103.0
福井県	2		37,781	40,269	106.6
山梨県	1		19,938	26,764	134.2
岐阜県	1		42,370	43,511	102.7
静岡県	13		806,796	788,342	97.7
愛知県	14		627,985	668,185	106.4
三重県	9		414,698	427,222	103.0
滋賀県	1		26,906	26,729	99.3
京都府	7		247,603	252,769	102.1
大阪府	10		417,924	426,070	101.9
合計	160	5	6,217,731	6,523,483	104.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

調剤実績

当第3四半期連結会計期間における処方せん応需実績は、次のとおりであります。

地区別	前第3四半期 連結会計期間 (千枚)	当第3四半期 連結会計期間 (千枚)	構成比(%)	前年同期比(%)
北海道	114	113	17.8	98.9
宮城県	2	2	0.4	108.1
秋田県		5	0.9	
山形県	1	1	0.3	101.1
福島県	46	46	7.3	100.0
茨城県	14	14	2.3	102.8
群馬県	13	29	4.6	211.5
埼玉県	28	30	4.7	107.8
千葉県	7	8	1.3	112.3
東京都	41	55	8.7	132.9
神奈川県	9	9	1.5	103.5
新潟県	38	37	5.8	96.5
富山県	9	8	1.4	93.7
石川県	23	25	4.0	105.6
福井県	3	4	0.6	113.9
山梨県	1	2	0.4	133.3
岐阜県	4	4	0.8	109.2
静岡県	63	61	9.7	97.2
愛知県	63	68	10.7	107.5
三重県	35	37	5.8	103.6
滋賀県	2	2	0.4	114.1
京都府	20	21	3.4	107.3
大阪府	45	45	7.2	101.3
合計	592	637	100.0	107.6

2 【事業等のリスク】

前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」からの重要な変更は以下の通りであります。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループが判断したものであります。

・ 法的規制について

当社は平成22年6月、元役員により循環的に売上高が計上されていた「元役員の不適切な取引」の発覚により、平成19年5月期から平成22年5月期第3四半期にかけての過年度決算を修正いたしました。

当該取引につき、当社では外部専門家及び内部職員で構成される調査委員会を設置し、調査委員会による調査報告書にて、当該取引は、特定の元役員による単独行動であり、「経営者不正」の色彩が強いものであるが、再度コンプライアンスに対する意識付け及び社内チェックシステムのさらなる強化を行うべきとの総括を受けております。そのような総括を受け、当社では平成22年7月より、コンプライアンス委員会を設置し、経営陣を含めたグループ全社において総括的なコンプライアンス体系に対する認識を高め、コーポレートガバナンスや内部統制といった組織の最適な形を継続的に検討すること等により、かかる取引が二度と行われないうための再発防止策を策定し、実施しております。

また、当該取引に伴い、証券取引所に上場している当社の売上高を架空計上し、有価証券報告書等の継続開示書類の重要な事項につき虚偽記載のあるものを提出したことにつき、上記調査委員会からは、金融商品取引法違反として刑事責任を問わなければならないほどの法秩序に対する侵害は重大とはいえないとの見解を得ております。

しかし、上記の見解は、あくまで当社及び関係者から入手した限定された資料及び限定された手続きに基づくものであり、今後当社が金融商品取引法違反に問われることはないということを保証するものではありません。今後当社が金融商品取引法違反に問われ、課徴金若しくは罰金等の支払いを課された場合、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、本四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

この度の東日本大震災により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げるとともに、被災された皆さま、ご家族、ならびに関係者の皆さまに、心からお見舞いを申し上げます。ファーマライズグループでは、東北・関東地区における薬局運営体制の維持・整備に全力で取り組むことを通じて、被災地の一日も早い復興を心から祈念しております。

当第3四半期連結会計期間（平成22年12月1日～平成23年2月28日）におけるわが国の経済情勢は、一部の外需型企業で業績改善の兆しはあったものの、慢性的なデフレや雇用情勢の悪化、高止まりする円相場等により依然として厳しい状況にありました。さらに、平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」により東北地方を中心に甚大な被害を被り、今後の見通しを立てることも困難な状況にあります。

そのような状況の中で、当社グループが掲げる「全国の患者に対して、調剤を科学することで、優れた薬物医療を提供する」という命題の社会的使命はこれまで以上に重要性が増し、当社グループでは一丸となってこれを成し遂げる所存であります。

平成23年3月9日付で公表いたしました「業務資本提携及び第三者割当による新株式発行並びに支配株主の異動に関するお知らせ」はその一環の位置付けにあり、「調剤薬局事業の強化」と「事業拡大のための資金調達」を意図したものであります。

この度、業務提携を行う有力医薬品卸企業3社（株式会社ほくやく、株式会社バイタルネット、中北薬品株式会社）とは主に「地域医療の推進」において協力関係を深め、伊藤忠商事株式会社とは「新業態の開発」や「後発医薬品への取り組み」において協力関係を深めることで、当社グループのソフト面を強化することを想定しております。

また、第三者割当増資により調達した470百万円は、今後の新規開局に係る設備投資に充当し、有利子負債に依存せずに事業拡大を行いハード面の強化につながることを想定しております。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結会計期間における業績は、売上高は6,717百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益は322百万円（同42.5%増）、経常利益は285百万円（同50.3%増）、四半期純利益は143百万円（同58.8%増）となりました。セグメントごとの業績は次の通りであります。

(調剤薬局事業)

当第3四半期連結会計年度末現在で、当社グループが運営する調剤薬局店舗数は160店舗（直営店158店舗、F C 2店舗）であります。当第3四半期連結会計期間におきましては、事業子会社の株式会社ふじい薬局がM & Aにより北海道内で新たに2店舗を取得いたしました。また、前連結会計年度に連結子会社化となった株式会社三和調剤（持分割合51.2%）、株式会社ハイレンメディカル（持分割合100%）、株式会社北町薬局（持分割合100%）が、順当に業績を推移させており、連結売上高に大きく寄与しております。

薬局運営面につきましては、平成22年4月から実施された薬価改定と調剤報酬改定に対応した対策を推進しております。特に後発医薬品につきましては、従来の方針である「安全と効果の検証」を踏まえた上で積極的な対応を加速しております。また、調剤薬局の機能を開発するという観点から、当社グループの運営する調剤薬局において第1類医薬品を充実させることに加えてメディカルアロマや医療用サプリメントを取り揃えて、新たな付加価値の提供に向けた模索を続けております。

これらの結果、調剤薬局事業における当第3四半期連結会計期間の業績は、売上高は6,523百万円、営業利益は383百万円となりました。

(その他)

当社グループでは、ファーマライズ株式会社において、平成22年8月より「JR札幌駅内「JRタワーオフィスプラザさっぽろ」の7階から9階に展開する医療モールの運営事業を新たに手掛けております。これを除いたその他事業の内容は、当社が運営する処方データの販売と完全子会社である株式会社ふじい薬局が運営する調剤薬局以外の店舗における化粧品等の小売販売及び衛生材料等の卸売販売であります。

その他の事業における当第3四半期連結会計期間の業績は、売上高は194百万円、営業損失は4百万円となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は14,616百万円となり、前連結会計年度末残高13,786百万円に対し、830百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の残高が3,382百万円となり前連結会計年度末残高2,837百万円に対し545百万円増加し、関連会社株式の取得や新規事業の開始に伴い有形固定資産の残高が3,814百万円となり前連結会計年度末残高3,558百万円に対し256百万円の増加、投資その他の資産の残高が1,781百万円となり前連結会計年度末残高1,519百万円に対し261百万円増加した一方で、調剤報酬債権流動化の実行に伴い、未収入金の残高が1,303百万円となり、前連結会計年度末残高2,075百万円に対し772百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は12,362百万円となり、前連結会計年度末残高11,873百万円に対し489百万円増加しました。この主な要因は、買掛金の残高が4,612百万円となり、前連結会計年度末残高4,237百万円に対し374百万円増加し、1年内返済予定の長期借入金、長期借入金の合計残高が6,196百万円となり、前連結会計年度末残高5,926百万円に対し269百万円増加した一方で、未払法人税等の残高が121百万円となり前連結会計年度末残高429百万円に対し307百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,253百万円となり、前連結会計年度末残高1,913百万円に対し340百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の残高が1,096百万円となり、前連結会計年度末残高763百万円に対し332百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、3,088百万円（前年同期比610百万円の増加）となり第2四半期連結会計期間末の資金2,880百万円に対し208百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは201百万円の増加（前年同期比404百万円の増加）となりました。この主な要因は業績が順調に推移したことに伴い税金等調整前四半期純利益を285百万円計上したこと、仕入債務が391百万円増加した一方で、たな卸資産が247百万円増加し、法人税等の支払が246百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは3百万円の増加（前年同期比57百万円の増加）となりました。この主な要因は定期預金が13百万円増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは3百万円の増加（前年同期比381百万円の減少）となりました。この主な要因は長期借入金が9百万円増加したことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第3四半期連結会計期間における当グループが支出した研究開発費の総額は2百万円であります。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

前四半期連結会計期間末に計画しておりました設備計画は、当第3四半期連結会計期間において新たに設備の新設予定が前四半期連結会計期間末時点より増加する見通しとなったため、次のように変更いたしました。

会社名	セグメントの名称	設備の内容	所在地	投資予定額(千円)		資金調達方法	着手年月	完了予定年月	完成後の増加能力	
				総額	既支払額					
ファーマライズ㈱	調剤薬局事業	新規店舗	愛知県(2)	65,000	12,489	増資資金、借入金及び自己資金	22年10月	23年5月	300㎡	
			23年5月期計	65,000	12,489					
			茨城県(1)	78,000		増資資金、借入金及び自己資金	23年6月	24年5月	200㎡	
			富山県(3)	183,500	55,000		22年10月	24年5月	400㎡	
			福井県(1)	20,500			23年6月	24年5月	150㎡	
			静岡県(2)	88,000			23年6月	24年5月	300㎡	
			滋賀県(2)	52,000			23年6月	24年5月	300㎡	
			24年5月期計	422,000	55,000					1,350㎡
			福井県(1)	26,000		増資資金、借入金及び自己資金	24年6月	25年5月	150㎡	
			山梨県(1)	33,000			24年6月	25年5月	150㎡	
			岐阜県(1)	46,000			24年6月	25年5月	150㎡	
					25年5月期計	105,000				450㎡
					小計	592,000	67,489			
㈱みなみ薬局	調剤薬局事業	新規店舗	茨城県(1)	57,000		増資資金、借入金及び自己資金	23年6月	24年5月	150㎡	
			24年5月期計	57,000						
			福島県(1)	83,000		増資資金、借入金及び自己資金	24年6月	25年5月	150㎡	
			25年5月期計	83,000						
				小計	140,000					300㎡
㈱双葉	調剤薬局事業	新規店舗	京都府(1)	15,000		借入金及び自己資金	22年12月	23年5月	150㎡	
			23年5月期計	15,000						
			京都府(2)	60,000		借入金及び自己資金	24年6月	25年5月	250㎡	
			25年5月期計	60,000						
				小計	75,000					400㎡
	合計	807,000	67,489				2,800㎡			

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	85,860
計	85,860

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年2月28日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年4月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	21,465	26,165	大阪証券取引所 J A S D A Q (スタン ダード)	単元株制度を採用し ておりません。
計	21,465	26,165	-	-

(注)平成23年3月28日を払込期日とする第三者割当による増資により、新株発行をしたことで発行済株式数が4,700株増加しております。

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成22年12月1日～ 平成23年2月28日		21,465		580,075		527,376

(注)平成23年3月28日を払込期日とする第三者割当による増資により、発行済株式数が4,700株、資本金及び資本準備金がそれぞれ235,470千円増加しております。

(6) 【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できないため、直前の基準日である平成22年11月30日現在で記載しております。

【発行済株式】

平成22年11月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,164	-	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,301	20,301	同上
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	21,465	-	-
総株主の議決権	-	20,301	-

【自己株式等】

平成22年11月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
(自己保有株式) ファーマライズホールディングス株式会社	東京都中野区中央1 -38-1	1,164	-	1,164	5.4
計	-	1,164	-	1,164	5.4

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成23年 1月	2月
最高(円)	78,100	79,900	78,500	78,000	72,800	66,500	73,800	118,500	117,400
最低(円)	70,700	72,000	67,000	67,000	60,100	59,100	63,000	71,600	95,000

(注)最高・最低株価は、平成22年10月12日以前は大阪証券取引所(JASDAQ市場)におけるものであり、平成22年10月12日以降は大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)におけるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間（平成21年12月1日から平成22年2月28日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年6月1日から平成22年2月28日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成22年12月1日から平成23年2月28日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年6月1日から平成23年2月28日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間（平成21年12月1日から平成22年2月28日まで）及び前第3四半期連結累計期間（平成21年6月1日から平成22年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間（平成22年12月1日から平成23年2月28日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成22年6月1日から平成23年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表について、優成監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,382,840	2,837,110
売掛金	786,905	682,278
商品	996,440	729,179
未収入金	1,303,529	2,075,620
その他	315,232	320,191
貸倒引当金	1,696	11,994
流動資産合計	6,783,252	6,632,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,780,902	1,794,096
土地	1,586,281	1,559,695
その他(純額)	447,281	204,283
有形固定資産合計	3,814,466	3,558,076
無形固定資産		
のれん	1,936,303	1,807,300
ソフトウェア	171,002	227,928
その他	127,135	37,005
無形固定資産合計	2,234,441	2,072,235
投資その他の資産		
差入保証金	802,665	709,789
その他	1,056,178	842,337
貸倒引当金	77,710	32,337
投資その他の資産合計	1,781,134	1,519,790
固定資産合計	7,830,041	7,150,101
繰延資産		
社債発行費	3,650	4,344
繰延資産合計	3,650	4,344
資産合計	14,616,945	13,786,832

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,612,779	4,237,973
短期借入金	150,000	200,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	2,193,329	1,965,494
未払法人税等	121,407	429,358
賞与引当金	90,647	8,245
その他	440,423	491,308
流動負債合計	7,648,586	7,372,380
固定負債		
社債	220,000	260,000
長期借入金	4,003,137	3,961,394
退職給付引当金	159,752	148,997
その他	331,516	130,320
固定負債合計	4,714,406	4,500,711
負債合計	12,362,992	11,873,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	580,075	580,075
資本剰余金	527,376	527,376
利益剰余金	1,096,348	763,350
自己株式	88,308	88,308
株主資本合計	2,115,491	1,782,493
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	16,026	12,978
評価・換算差額等合計	16,026	12,978
少数株主持分	122,435	118,268
純資産合計	2,253,953	1,913,740
負債純資産合計	14,616,945	13,786,832

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
売上高	16,899,557	19,663,992
売上原価	14,716,827	16,730,045
売上総利益	2,182,729	2,933,946
販売費及び一般管理費	1 1,588,922	1 1,963,363
営業利益	593,807	970,583
営業外収益		
受取利息	5,387	4,485
受取配当金	539	650
受取賃貸料	9,431	11,613
その他	2,765	21,599
営業外収益合計	18,124	38,348
営業外費用		
支払利息	70,728	99,061
持分法による投資損失	4,069	6,677
支払手数料	39,690	18,905
休止固定資産費用	36,069	30,413
その他	11,484	18,684
営業外費用合計	162,041	173,742
経常利益	449,890	835,190
特別利益		
固定資産売却益	-	1,115
貸倒引当金戻入額	853	7,943
特別利益合計	853	9,058
特別損失		
固定資産除却損	145	877
減損損失	2 23,151	2 17,696
貸倒引当金繰入額	-	46,640
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	5,171
特別損失合計	23,297	70,385
税金等調整前四半期純利益	427,446	773,863
法人税等	222,166	395,746
少数株主損益調整前四半期純利益	-	378,116
少数株主利益	3,193	4,516
四半期純利益	202,085	373,600

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
売上高	6,274,441	6,717,598
売上原価	5,455,798	5,734,095
売上総利益	818,642	983,502
販売費及び一般管理費	¹ 592,121	¹ 660,803
営業利益	226,521	322,699
営業外収益		
受取利息	2,303	1,473
受取配当金	187	213
受取賃貸料	3,804	3,852
その他	730	10,438
営業外収益合計	7,025	15,976
営業外費用		
支払利息	26,491	33,964
休止固定資産費用	11,875	10,256
その他	5,369	9,211
営業外費用合計	43,737	53,433
経常利益	189,809	285,242
特別利益		
固定資産売却益	-	1,115
貸倒引当金戻入額	113	817
特別利益合計	113	297
特別損失		
固定資産除却損	145	423
特別損失合計	145	423
税金等調整前四半期純利益	189,550	285,117
法人税等	97,203	139,525
少数株主損益調整前四半期純利益	-	145,591
少数株主利益	1,957	2,085
四半期純利益	90,390	143,506

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	427,446	773,863
減価償却費	222,623	289,019
減損損失	23,151	17,696
のれん償却額	94,310	142,773
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,862	34,538
賞与引当金の増減額(は減少)	103,782	82,401
退職給付引当金の増減額(は減少)	9,991	10,755
受取利息及び受取配当金	5,927	5,136
支払利息	70,728	99,061
固定資産除却損	145	877
固定資産売却損益(は益)	-	1,115
持分法による投資損益(は益)	4,069	6,677
売上債権の増減額(は増加)	641,514	710,015
たな卸資産の増減額(は増加)	104,561	233,333
仕入債務の増減額(は減少)	371,468	235,664
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	5,171
その他	202,685	100,428
小計	1,654,196	2,068,502
利息及び配当金の受取額	2,534	3,147
利息の支払額	66,503	92,465
法人税等の支払額	223,340	726,732
法人税等の還付額	-	55,801
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,366,887	1,308,252
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	4,750	198,400
定期預金の払戻による収入	3,400	155,540
有形固定資産の取得による支出	108,703	197,241
有形固定資産の売却による収入	-	2,428
無形固定資産の取得による支出	10,594	92,855
投資有価証券の取得による支出	-	190,560
差入保証金の差入による支出	34,256	124,505
差入保証金の回収による収入	15,126	23,660
貸付けによる支出	146,000	-
貸付金の回収による収入	122,095	8,861
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	2 1,370,303	195,570
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	2 89,307	-
その他	22,468	1,407
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,467,146	807,234

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	260,000	84,682
長期借入れによる収入	1,400,000	1,750,000
長期借入金の返済による支出	1,240,859	1,558,110
リース債務の返済による支出	13,763	30,435
社債の発行による収入	295,373	-
社債の償還による支出	-	40,000
配当金の支払額	42,804	40,602
少数株主への配当金の支払額	350	350
財務活動によるキャッシュ・フロー	657,595	4,180
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	557,337	496,837
現金及び現金同等物の期首残高	1,921,227	2,592,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,478,564	1 3,088,977

【継続企業の前提に関する事項】

当第3四半期連結会計期間（自平成22年12月1日至平成23年2月28日）

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日至平成23年2月28日)	
1 連結の範囲に関する事項の変更	
(1) 連結の範囲の変更	
<p>第2四半期連結会計期間において、(有)ヘイコーポレーション、(有)エルケア及び(株)インテグラの全株式を取得し連結の範囲に含めており、当第3四半期連結会計期間において、(有)コスモス調剤の全株式を取得し、連結の範囲に含めることとしております。なお、(有)コスモス調剤について平成23年1月31日を取得日としたため、四半期連結財務諸表の作成においては、四半期連結貸借対照表の連結のみとなっております。</p>	
(2) 変更後の連結子会社の数	
12社	
(3) 決算期の異なる新規連結子会社	
会社名	決算日
(有)ヘイコーポレーション	12月31日
(有)エルケア	9月30日
(株)インテグラ	3月31日
(有)コスモス調剤	3月31日
2 持分法の適用に関する事項の変更	
(1) 持分法適用関連会社の変更	
<p>第1四半期連結会計期間において、(株)アポテックは株式取得により持分法適用関連会社となり、第1四半期連結会計期間末日をみなし取得日としております。</p>	
(2) 変更後の持分法適用関連会社の数	
3社	
3 会計処理の原則及び手続の変更	
(1) 「資産除去債務に関する会計基準」等の適用	
<p>第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。</p> <p>これにより、当第3四半期連結累計期間において営業利益が2,539千円、経常利益が2,828千円、税金等調整前四半期純利益が8,511千円それぞれ減少しております。</p>	
(2) 「企業結合に関する会計基準」等の適用	
<p>第1四半期連結会計期間より「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日）、「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。</p>	

【表示方法の変更】

<p>当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)</p>
<p>(四半期連結損益計算書関係)</p> <p>「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。</p>

<p>当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)</p>
<p>(四半期連結損益計算書関係)</p> <p>「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。</p>

【簡便な会計処理】

<p>当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)</p>
<p>1 棚卸資産の評価方法</p> <p>当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。</p> <p>2 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法</p> <p>繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。</p>

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

<p>当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日)</p>
<p>1 税金費用の計算</p> <p>当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。</p>

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末 (平成22年5月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 1,614,755千円	1 有形固定資産の減価償却累計額 1,373,896千円

(四半期連結損益計算書関係)

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。		1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
役員報酬	130,857千円	役員報酬	204,375千円
給料手当	232,340	給料手当	243,990
退職給付引当金繰入額	4,856	退職給付引当金繰入額	4,765
貸倒引当金繰入額	892	貸倒引当金繰入額	18
賞与引当金繰入額	24,320	賞与引当金繰入額	21,101
租税公課	676,566	租税公課	737,581
2 減損損失 当社は当第3四半期連結累計期間において、以下の資産グループについて減損損失を計上しております。		2 減損損失 当社は当第3四半期連結累計期間において、以下の資産グループについて減損損失を計上しております。	
用途	種類	場所	減損損失
店舗 (既存)	建物、土地	北海道	4,392千円
店舗 (既存)	建物、土地、ソフトウエア、リース資産他	群馬県	18,759千円
当社グループは店舗を、キャッシュを生み出す最小単位としてグルーピングしております。 営業状態の悪化した店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額して、当該減少額を減損損失 23,151千円として計上いたしました。 その内訳は、建物 6,604千円、構築物 1,586千円、工具器具備品 1,156千円、土地 8,480千円、電話加入権 34千円、ソフトウエア 3,103千円、長期前払費用 36千円、リース資産 2,149千円であります。 なお、当資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額は不動産鑑定評価額等により算定しております。		当社グループは店舗を、キャッシュを生み出す最小単位としてグルーピングしております。 営業状態の悪化した店舗の資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額して、当該減少額を減損損失 17,696千円として計上いたしました。 その内訳は、建物 11,005千円、構築物 4,738千円、工具器具備品 1,504千円、長期前払費用 448千円であります。 なお、当資産グループの回収可能価額は正味売却価額により測定しており、正味売却価額は零として算定しております。	

第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	
1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。		1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
役員報酬	57,877千円	役員報酬	70,083千円
給料手当	77,550千円	給料手当	85,858千円
退職給付引当金繰入額	1,228千円	退職給付引当金繰入額	1,363千円
貸倒引当金繰入額	11千円	貸倒引当金繰入額	18千円
賞与引当金繰入額	7,653千円	賞与引当金繰入額	4,853千円
租税公課	245,379千円	租税公課	260,490千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)																																																						
<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">2,728,065千円</td> </tr> <tr> <td>投資その他の資産(その他)</td> <td style="text-align: right;">31,050</td> </tr> <tr> <td>3ヶ月超の定期預金等</td> <td style="text-align: right;">280,551</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,478,564千円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	2,728,065千円	投資その他の資産(その他)	31,050	3ヶ月超の定期預金等	280,551	現金及び現金同等物	2,478,564千円	<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">3,382,840千円</td> </tr> <tr> <td>3ヶ月超の定期預金等</td> <td style="text-align: right;">293,863</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">3,088,977千円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	3,382,840千円	3ヶ月超の定期預金等	293,863	現金及び現金同等物	3,088,977千円																																								
現金及び預金勘定	2,728,065千円																																																						
投資その他の資産(その他)	31,050																																																						
3ヶ月超の定期預金等	280,551																																																						
現金及び現金同等物	2,478,564千円																																																						
現金及び預金勘定	3,382,840千円																																																						
3ヶ月超の定期預金等	293,863																																																						
現金及び現金同等物	3,088,977千円																																																						
<p>2 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内容</p> <p>(株)ハイレンメディカル(平成21年9月30日)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">流動資産</td> <td style="text-align: right;">567,469千円</td> </tr> <tr> <td>固定資産</td> <td style="text-align: right;">606,156</td> </tr> <tr> <td>のれん</td> <td style="text-align: right;">1,292,944</td> </tr> <tr> <td>流動負債</td> <td style="text-align: right;">796,514</td> </tr> <tr> <td>固定負債</td> <td style="text-align: right;">226,611</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">(株)ハイレンメディカル株式の取得価額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,443,445千円</td> </tr> <tr> <td>(株)ハイレンメディカルの現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">149,135</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引:(株)ハイレンメディカル株式取得による支出</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,294,309千円</td> </tr> </table> <p>(株)三和調剤(平成21年10月31日)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">流動資産</td> <td style="text-align: right;">331,323千円</td> </tr> <tr> <td>固定資産</td> <td style="text-align: right;">53,254</td> </tr> <tr> <td>のれん</td> <td style="text-align: right;">119,679</td> </tr> <tr> <td>流動負債</td> <td style="text-align: right;">193,955</td> </tr> <tr> <td>固定負債</td> <td style="text-align: right;">8,564</td> </tr> <tr> <td>少数株主持分</td> <td style="text-align: right;">88,808</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">(株)三和調剤株式の取得価額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">212,930千円</td> </tr> <tr> <td>投資有価証券からの振替額</td> <td style="text-align: right;">108,430</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引:(株)三和調剤株式の取得価額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">104,500千円</td> </tr> <tr> <td>(株)三和調剤の現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">193,807</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引:(株)三和調剤株式取得による収入</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">89,307千円</td> </tr> </table> <p>(有)北町薬局(平成21年12月31日)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">流動資産</td> <td style="text-align: right;">177,394千円</td> </tr> <tr> <td>固定資産</td> <td style="text-align: right;">34,639</td> </tr> <tr> <td>のれん</td> <td style="text-align: right;">34,279</td> </tr> <tr> <td>流動負債</td> <td style="text-align: right;">89,847</td> </tr> <tr> <td>固定負債</td> <td style="text-align: right;">9,715</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">(有)北町薬局株式の取得価額</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">146,750千円</td> </tr> <tr> <td>(有)北町薬局の現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">70,755</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">差引:(有)北町薬局株式取得による支出</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">75,994千円</td> </tr> </table>	流動資産	567,469千円	固定資産	606,156	のれん	1,292,944	流動負債	796,514	固定負債	226,611	(株)ハイレンメディカル株式の取得価額	1,443,445千円	(株)ハイレンメディカルの現金及び現金同等物	149,135	差引:(株)ハイレンメディカル株式取得による支出	1,294,309千円	流動資産	331,323千円	固定資産	53,254	のれん	119,679	流動負債	193,955	固定負債	8,564	少数株主持分	88,808	(株)三和調剤株式の取得価額	212,930千円	投資有価証券からの振替額	108,430	差引:(株)三和調剤株式の取得価額	104,500千円	(株)三和調剤の現金及び現金同等物	193,807	差引:(株)三和調剤株式取得による収入	89,307千円	流動資産	177,394千円	固定資産	34,639	のれん	34,279	流動負債	89,847	固定負債	9,715	(有)北町薬局株式の取得価額	146,750千円	(有)北町薬局の現金及び現金同等物	70,755	差引:(有)北町薬局株式取得による支出	75,994千円	
流動資産	567,469千円																																																						
固定資産	606,156																																																						
のれん	1,292,944																																																						
流動負債	796,514																																																						
固定負債	226,611																																																						
(株)ハイレンメディカル株式の取得価額	1,443,445千円																																																						
(株)ハイレンメディカルの現金及び現金同等物	149,135																																																						
差引:(株)ハイレンメディカル株式取得による支出	1,294,309千円																																																						
流動資産	331,323千円																																																						
固定資産	53,254																																																						
のれん	119,679																																																						
流動負債	193,955																																																						
固定負債	8,564																																																						
少数株主持分	88,808																																																						
(株)三和調剤株式の取得価額	212,930千円																																																						
投資有価証券からの振替額	108,430																																																						
差引:(株)三和調剤株式の取得価額	104,500千円																																																						
(株)三和調剤の現金及び現金同等物	193,807																																																						
差引:(株)三和調剤株式取得による収入	89,307千円																																																						
流動資産	177,394千円																																																						
固定資産	34,639																																																						
のれん	34,279																																																						
流動負債	89,847																																																						
固定負債	9,715																																																						
(有)北町薬局株式の取得価額	146,750千円																																																						
(有)北町薬局の現金及び現金同等物	70,755																																																						
差引:(有)北町薬局株式取得による支出	75,994千円																																																						

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年2月28日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

1 発行済株式の種類及び総数

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	21,465

2 自己株式の種類及び株式数

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	1,164

3 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年8月30日 定時株主総会	普通株式	40,602	2,000	平成22年5月31日	平成22年8月31日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

4 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年12月1日至平成22年2月28日)

	調剤薬局事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	6,217,731	56,709	6,274,441	-	6,274,441
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	6,217,731	56,709	6,274,441	-	6,274,441
営業利益又は営業損失()	289,088	16,035	273,053	(46,532)	226,521

(注) 1 事業の区分の方法

事業は市場の類似性に基づき区分しております。

2 調剤薬局事業・・・調剤薬局の経営

その他事業・・・化粧品等の小売販売、衛生材料等の卸販売、処方データの販売及び分析レポート作成のためのコンサルティング

前第3四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成22年2月28日)

	調剤薬局事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	16,706,026	193,530	16,899,557	-	16,899,557
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	16,706,026	193,530	16,899,557	-	16,899,557
営業利益又は営業損失()	784,480	43,011	741,469	(147,661)	593,807

(注) 1 事業の区分の方法

事業は市場の類似性に基づき区分しております。

2 調剤薬局事業・・・調剤薬局の経営

その他事業・・・化粧品等の小売販売、衛生材料等の卸販売、処方データの販売及び分析レポート作成のためのコンサルティング

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年12月1日至平成22年2月28日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成22年2月28日)において本国以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年12月1日至平成22年2月28日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成22年2月28日)において海外売上高はありません。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、調剤薬局の経営を主として事業展開しており、従いまして「調剤薬局事業」を報告セグメントとしております。

「調剤薬局事業」は健康保険法に基づく保険薬局として、医療機関の発行する処方せんに基づき一般患者に医薬品の調剤を行う調剤薬局を経営する事業であります。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年6月1日 至 平成23年2月28日）

（単位：千円）

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	調剤薬局事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	19,142,364	19,142,364	521,627	19,663,992	-	19,663,992
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	19,142,364	19,142,364	521,627	19,663,992	-	19,663,992
セグメント利益又は損失 ()	1,126,185	1,126,185	1,017	1,125,167	154,584	970,583

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない処方データ販売事業、化粧品等販売事業及び医療モール経営事業が含まれております。

2 セグメント利益又は損失の調整額 154,584千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結会計期間（自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日）

（単位：千円）

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	調剤薬局事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	6,523,483	6,523,483	194,114	6,717,598	-	6,717,598
セグメント間の内部売上 高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	6,523,483	6,523,483	194,114	6,717,598	-	6,717,598
セグメント利益又は損失 ()	383,119	383,119	4,488	378,631	55,932	322,699

(注) 1 その他には、報告セグメントに含まれない処方データ販売事業、化粧品等販売事業及び医療モール経営事業が含まれております。

2 セグメント利益又は損失の調整額 55,932千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(金融商品関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年2月28日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年2月28日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年2月28日)

金利スワップ取引は行っておりますが、いずれもヘッジ会計を適用しておりますので注記の対象から除いております。

(ストック・オプション等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成22年12月1日至平成23年2月28日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成22年12月1日至平成23年2月28日)

(取得による企業結合)

- 1 被取得企業の名称及びその事業の内容、企業結合を行った主な理由、企業結合日、企業結合の法的形式、結合後企業の名称、取得した議決権比率及び取得企業を決定するに至った主な根拠

(1)被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称 有限会社コスモス調剤

事業の内容 調剤薬局

(2)企業結合を行った理由

調剤薬局事業における店舗網の拡大を目的として、全発行済株式を取得し完全子会社としました。

(3)企業結合日 平成23年1月31日

(4)企業結合の法的形式 株式取得

(5)結合後企業の名称 有限会社コスモス調剤

(6)取得した議決権比率 100.0%

(7)取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価として有限会社コスモス調剤の株式を100%取得したためであります。

- 2 四半期連結会計期間及び四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

被取得企業の業績は含まれておりません。

- 3 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価

株式取得金額 120,000千円

取得に直接要した支出

株式譲受仲介手数料 15,350

計 135,350千円

- 4 発生したのれん又は負ののれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

(1)のれん金額 131,601千円

(2)発生原因

株式取得時の受入純資産額が、取得原価を下回ったため、差額をのれんとして計上しております。

(3)償却の方法及び償却期間 効果の発現する期間での均等償却

- 5 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

(1)資産の額

流動資産 84,887千円

固定資産 5,068

計 89,956千円

(2)負債の額

流動負債 86,207千円

計 86,207千円

- 6 企業結合が当連結会計年度開始の日に完了したと仮定した場合の当四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に及ぼす影響の概算額

売上高 255,874千円

営業利益 7,976

(概算額の算定方法及び重要な前提条件)

上記は、株式取得により全ての事業を取得しておりますので、(有)コスモス調剤の平成22年4月1日から平成23年1月31日までの売上高及び営業利益の額によっております。なお当該注記情報につきましては、監査証明を受けておりません。

(資産除去債務関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年2月28日)

該当事項はありません。

(賃貸等不動産関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年2月28日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)		前連結会計年度末 (平成22年5月31日)	
1株当たり純資産額	104,995.72円	1株当たり純資産額	88,442.55円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	
1株当たり四半期純利益	9,442.37円	1株当たり四半期純利益	18,403.04円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	202,085	373,600
普通株式に係る四半期純利益(千円)	202,085	373,600
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式の期中平均株式数(株)	21,402	20,301

第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	
1株当たり四半期純利益	4,223.44円	1株当たり四半期純利益	7,068.92円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-円	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	90,390	143,506
普通株式に係る四半期純利益(千円)	90,390	143,506
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式の期中平均株式数(株)	21,402	20,301

(重要な後発事象)

当第3四半期連結会計期間

(自平成22年12月1日

至平成23年2月28日)

(第三者割当)

当社は平成23年3月9日開催の取締役会において、第三者割当による新株式発行を行うことを決議し、平成23年3月28日に払込が完了しております。

1 募集等の方法

第三者割当

2 発行する株式の種類及び数、発行価額、発行総額、発行価額のうち資本へ組入れる額

(1) 発行する株式の種類及び数

普通株式 4,700株

(2) 発行価額 1株につき100,200円

(3) 発行総額 470,940,000円

(4) 発行価額のうち資本へ組入れる額

増加する資本金の額 235,470,000円

増加する資本準備金の額 235,470,000円

3 募集の時期

申込期日 平成23年3月25日

払込期日 平成23年3月28日

4 割当先及び割当株式数

株式会社ほくやく 1,100株

株式会社バイタルネット 1,100株

中北薬品株式会社 1,100株

伊藤忠商事株式会社 1,000株

株式会社中島建築事務所 200株

高園産業株式会社 50株

株式会社遠興 50株

大野小夜子 100株

5 資金の用途

当社グループは、平成25年5月までに連結子会社3社において調剤薬局の新規出店として807百万円の設備新設計画を有しております(ファーマライズ株式会社592百万円、株式会社みなみ薬局140百万円、株式会社双葉75百万円)。差引手取概算額460百万円については、当社から連結子会社2社(ファーマライズ株式会社、株式会社みなみ薬局)へ貸付を行い、連結子会社2社は当該資金を設備投資資金に充当する予定であります。

具体的には、ファーマライズ株式会社における平成23年5月期の設備投資額65百万円、平成24年5月期の設備投資額422百万円、平成25年5月期の設備投資額105百万円と、株式会社みなみ薬局における平成24年5月期の設備投資額57百万円、平成25年5月期の設備投資額83百万円への充当を予定しております。

(リース取引関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成22年12月1日至平成23年2月28日)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年 8 月 9 日

ファーマライズホールディングス株式会社
取締役会 御中

優 成 監 査 法 人

指定社員 公認会計士 渡 邊 芳 樹 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 鶴 見 寛 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているファーマライズホールディングス株式会社の平成21年6月1日から平成22年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年12月1日から平成22年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年6月1日から平成22年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ファーマライズホールディングス株式会社及び連結子会社の平成22年2月28日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年4月13日

ファーマライズホールディングス株式会社
取締役会 御中

優成監査法人

指定社員 公認会計士 渡邊 芳 樹 印
業務執行社員

指定社員 公認会計士 鶴見 寛 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているファーマライズホールディングス株式会社の平成22年6月1日から平成23年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成22年12月1日から平成23年2月28日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成22年6月1日から平成23年2月28日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ファーマライズホールディングス株式会社及び連結子会社の平成23年2月28日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成23年3月9日開催の取締役会において、第三者割当による新株式発行を行うことを決議し、平成23年3月28日に払込が完了した。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。